



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 梅の花

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営計画室長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	23,031	2.3	603	△9.2	576	16.2	378	—
23年9月期第3四半期	22,517	2.9	664	7.1	496	△3.1	△96	—

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 △97百万円 (—%) 23年9月期第3四半期 374百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	5,376.75	—
23年9月期第3四半期	△1,524.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
24年9月期第3四半期	19,306		6,112		31.7		87,578.64	
23年9月期	19,181		6,011		31.3		84,492.09	

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 6,112百万円 23年9月期 6,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,954	0.7	795	13.1	582	26.2	372	—	5,232.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	71,147 株	23年9月期	71,147 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	1,354 株	23年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	70,377 株	23年9月期3Q	63,258 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、平成24年8月8日付けにて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による停滞から、復興需要等を背景とした緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州の債務危機や円高の定着等により景気の下振れリスクが存在すると言われるなかで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「思い立ったら即実行 実行力が会社を変える」を経営方針として、お客様に感極まるサービスを提供できるように取り組んでまいりました。

販売強化策といたしましては、前期から引き続き、店舗責任者によるお客様へのご挨拶、ご来店頂いたお客様への手書きによるお礼状の送付、及び近隣の企業への訪問営業活動を行っております。また、おかげになる商品として、「餃子」を新規開発し売上の増加を図っております。

店舗の出店及び閉店につきましては、外食事業2店舗出店、テイクアウト事業6店舗出店及び6店舗閉店、3店舗の分離と子会社間の異動により、当第3四半期末の店舗数は、257店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高230億31百万円（前年同期比102.3%）、営業利益6億3百万円（前年同期比90.8%）、経常利益5億76百万円（前年同期比116.2%）、四半期純利益3億78百万円（前年同期は四半期純損失96百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は次のとおりであります。

(外食事業)

昨年に引き続きテレビコマーシャルを重要な広告媒体としてとらえ、お客様に梅の花をより一層アピール出来るようにシリーズ化して提供いたしました。また、近隣地域媒体への広告につきましても知名度の向上、新規のお客様の開拓を図ることを目的に積極的に実施しております。

経費の削減につきましては、人件費コントロールに重点を置き、人員配置や勤務シフトを見直すことで、サービス水準を落とすことなく人件費を削減し、利益率の向上に努めております。

出店及び閉店につきましては、梅の花は、10月に「立川店（東京都）」、11月に「岡山店（岡山県）」を出店し68店舗、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗3店舗となりました。従いまして、外食事業の全店舗数は78店舗、売上高は146億61百万円（前年同期比102.4%）、セグメント利益11億54百万円（前年同期比108.8%）となりました。

(テイクアウト事業)

梅の花テイクアウト店に続き、当期より古市庵テイクアウト店につきましても、おせちの取り扱いを始めており、売上の拡大に努めております。

出店及び閉店につきましては、古市庵テイクアウト店は、5月に「名古屋三越店（愛知県）」、「東京スカイツリータウン・ソラマチ店（東京都）」を出店し、1月に「八王子そごう店（東京都）」、2月に「枚方近鉄店（大阪府）」、「学園前近商店（奈良県）」、5月に「銀座松坂屋店（東京都）」を閉店し、136店舗となりました。梅の花テイクアウト店は、3月に「神戸大丸店（兵庫県）」、6月に「泉北高島屋店（大阪府）」を出店し、4月に「池袋東武店（東京都）」、5月に「エキュート品川店（東京都）」を閉店し、10月に「山口井筒屋店（山口県）」、「堺北花田阪急店（大阪府）」、「仙台セルパ店（宮城県）」以上3店舗を古市庵テイクアウト店より分離移管し、33店舗となりました。

その他店舗は、11月に「千林商店街店（大阪府）」、3月に「あさひパン（佐賀県）」を出店し、10店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は179店舗、売上高は83億70百万円（前年同期比102.1%）、セグメント利益1億28百万円（前年同期比48.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1億25百万円増加し、193億6百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億89百万円増加し、有形固定資産が3億89百万円、のれんが86百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ24百万円増加し、131億94百万円となりました。これは主に、借入金の総額が1億48百万円増加し、為替相場の影響によりデリバティブ債務が1億26百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億1百万円増加し、61億12百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億42百万円増加し、自己株式取得により株主資本が2億38百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当初発表した予想から修正は行っておりません。

また、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,808,043	2,597,608
売掛金	1,244,320	1,290,696
商品及び製品	59,916	60,939
原材料及び貯蔵品	148,353	155,474
繰延税金資産	327,744	199,768
その他	451,910	446,898
貸倒引当金	△1,758	△1,958
流動資産合計	4,038,530	4,749,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,622,752	6,695,549
機械装置及び運搬具（純額）	148,468	134,124
土地	4,639,687	4,639,687
建設仮勘定	484,263	52
その他（純額）	519,205	555,238
有形固定資産合計	12,414,377	12,024,652
無形固定資産		
のれん	693,794	607,070
その他	79,996	67,906
無形固定資産合計	773,790	674,976
投資その他の資産		
投資有価証券	57,176	55,326
長期貸付金	77,788	77,619
繰延税金資産	53,818	23,111
敷金及び保証金	1,688,518	1,641,676
その他	153,503	142,781
貸倒引当金	△76,468	△82,930
投資その他の資産合計	1,954,337	1,857,584
固定資産合計	15,142,505	14,557,213
資産合計	19,181,036	19,306,640

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	575,074	581,695
短期借入金	1,300,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,473,388	3,026,921
未払金	1,159,325	1,212,523
未払法人税等	39,400	29,950
賞与引当金	241,300	126,300
ポイント引当金	106,945	128,401
その他	651,849	690,000
流動負債合計	6,547,282	7,795,791
固定負債		
長期借入金	5,184,176	4,079,575
退職給付引当金	141,620	148,642
デリバティブ債務	488,912	362,679
資産除去債務	608,328	621,974
その他	199,357	185,599
固定負債合計	6,622,395	5,398,472
負債合計	13,169,677	13,194,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,852	3,804,852
資本剰余金	3,181,841	3,181,841
利益剰余金	△969,856	△627,030
自己株式	—	△238,011
株主資本合計	6,016,837	6,121,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△752	△4,549
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
その他の包括利益累計額合計	△5,477	△9,274
純資産合計	6,011,359	6,112,376
負債純資産合計	19,181,036	19,306,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	22,517,621	23,031,741
売上原価	6,438,575	6,644,019
売上総利益	16,079,046	16,387,722
販売費及び一般管理費	15,414,504	15,784,320
営業利益	664,541	603,402
営業外収益		
受取利息	3,567	3,267
受取配当金	1,685	1,734
受取手数料	15,326	15,404
保険解約返戻金	19,842	—
デリバティブ評価益	—	74,835
雑収入	23,874	20,145
営業外収益合計	64,297	115,387
営業外費用		
支払利息	119,504	91,520
デリバティブ評価損	53,645	—
雑損失	59,431	50,649
営業外費用合計	232,581	142,169
経常利益	496,257	576,620
特別利益		
固定資産売却益	43,743	—
特別利益合計	43,743	—
特別損失		
固定資産除売却損	142,203	17,074
店舗閉鎖損失引当金繰入額	600	—
投資有価証券評価損	88	—
訴訟関連損失	1,695	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369,175	—
減損損失	—	775
特別損失合計	513,762	17,849
税金等調整前四半期純利益	26,237	558,770
法人税、住民税及び事業税	17,458	24,379
法人税等調整額	105,187	155,991
法人税等合計	122,646	180,371
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,408	378,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,408	378,399

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△96,408	378,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△918	△3,797
その他の包括利益合計	△918	△3,797
四半期包括利益	△97,326	374,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,326	374,602
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	14,321,978	8,195,643	22,517,621	—	22,517,621
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,404	31,219	37,623	△37,623	—
計	14,328,382	8,226,862	22,555,245	△37,623	22,517,621
セグメント利益	1,061,553	262,718	1,324,271	△659,730	664,541

(注) 1 セグメント利益の調整額△659,730千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,661,051	8,370,689	23,031,741	—	23,031,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,360	28,671	35,031	△35,031	—
計	14,667,412	8,399,360	23,066,773	△35,031	23,031,741
セグメント利益	1,154,943	128,161	1,283,104	△679,702	603,402

(注) 1 セグメント利益の調整額△679,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月5日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は238,011千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。